

2024年12月期 第1四半期
決算概要書

株式会社 船井総研ホールディングス
(東証プライム：証券コード9757)

2024年5月10日（金）



1 エグゼクティブサマリー

- (1) 連結収益状況
- (2) 通期業績予想に対する進捗状況
- (3) 主要KPI指標の推移

2 2024年12月期 第1四半期決算報告

- (1) セグメント別経営成績
- (2) 経営コンサルティング事業における業績動向
- (3) ロジスティクス事業における業績動向
- (4) デジタルソリューション事業における業績動向
- (5) DX関連サービスにおける業績動向
- (6) 連結財務状況

3 業績予想と株主還元

4 トピックス

【本資料に関する注意事項】

エグゼクティブサマリー

1. エグゼクティブサマリー

(1) 連結収益状況

売上高は、経営コンサルティング事業における月次支援コンサルティング等が堅調に推移し増収
営業利益は、採用費用のコントロールなど販売費および一般管理費の抑制もあり、概ね計画通りの2桁成長

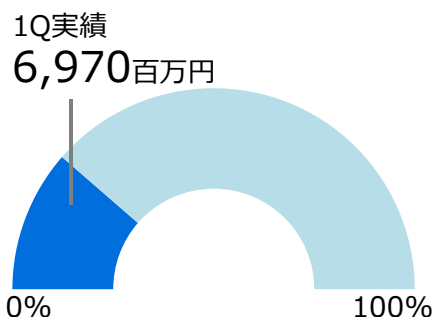
	2023年 1Q		2024年 1Q		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	6,770	100.0	6,970	100.0	+3.0
営業利益	1,765	26.1	2,076	29.8	+17.6
経常利益	1,811	26.8	2,069	29.7	+14.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,206	17.8	1,501	21.5	+24.5

1. エグゼクティブサマリー

(2) 通期業績予想に対する進捗状況

売上高

2024年通期予想
30,500百万円
(前期比+8.0%)

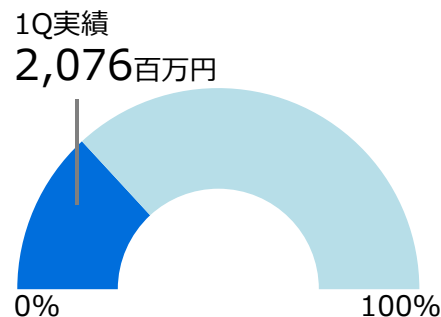


2024 1Q
進捗率

22.9%

営業利益

2024年通期予想
7,900百万円
(前期比+9.0%)

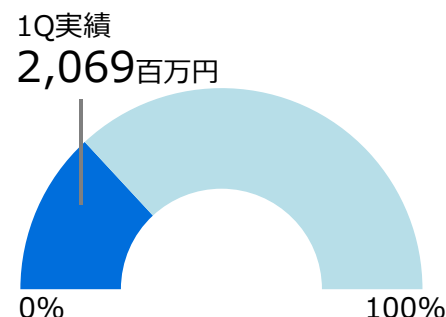


2024 1Q
進捗率

26.3%

経常利益

2024年通期予想
7,900百万円
(前期比+7.6%)

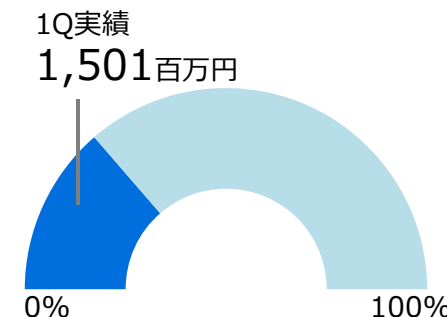


2024 1Q
進捗率

26.2%

親会社株主に帰属する 当期純利益

2024年通期予想
5,500百万円
(前期比+5.7%)



2024 1Q
進捗率

27.3%

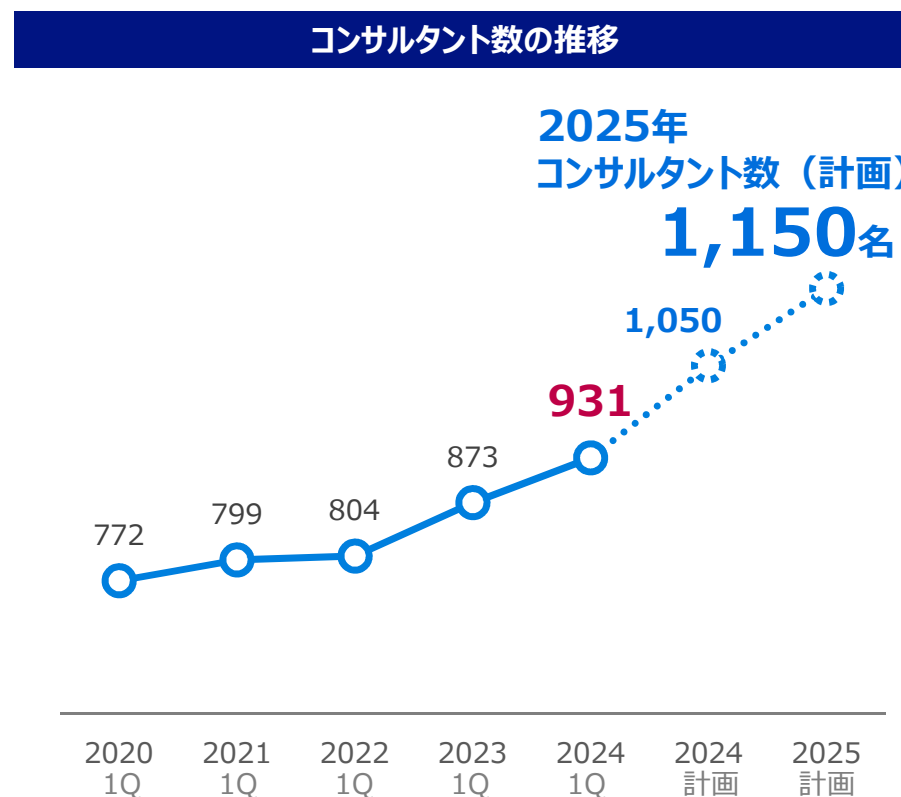
1. エグゼクティブサマリー

(3) 主要KPI指標の推移 = 職種別人員推移 =

主要KPIの1つであるコンサルタント人財は、順調に増加を続け、2025年1,150名を計画

	2023年 1Q	2024年 1Q
従業員数	1,375名	1,483名
前年同期比	+129名 (+10.4%)	+108名 (+7.9%)
コンサルタント人財	873名	931名
前年同期比	+69名 (+8.6%)	+58名 (+6.6%)
コンサルタント比率	63.5%	62.8%
上記の内、DX人財	289名	315名
		+26名 (+9.0%)

※DX人財の定義は当社独自の基準による

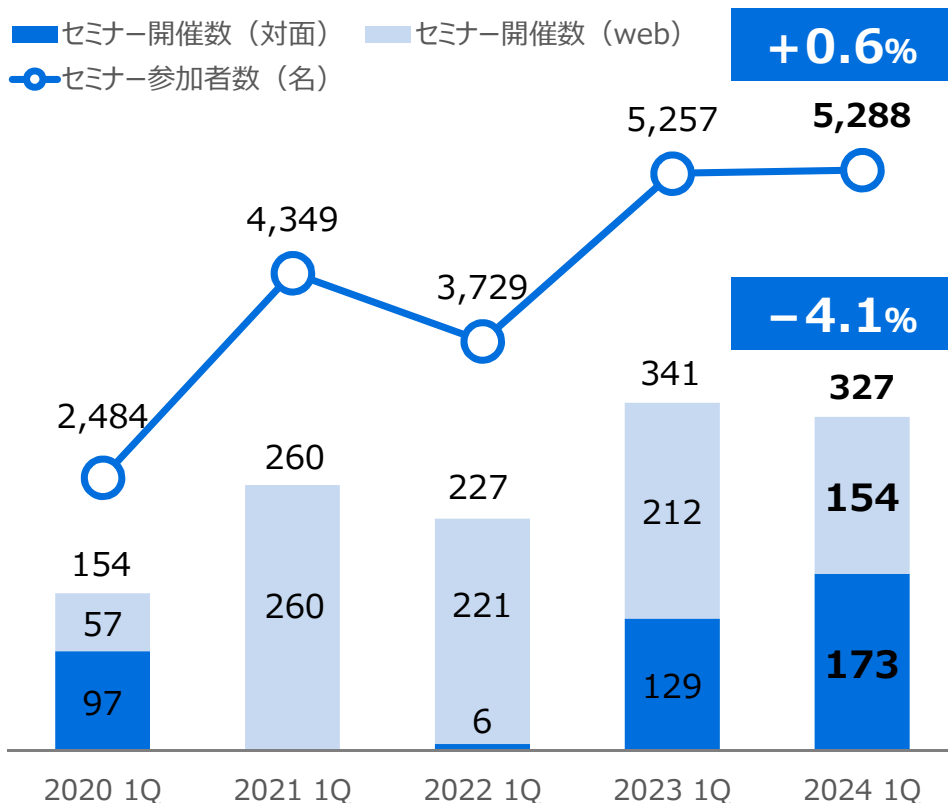


1. エグゼクティブサマリー

(3) 主要KPI指標の推移 = 経営セミナー・経営研究会の実績推移 =

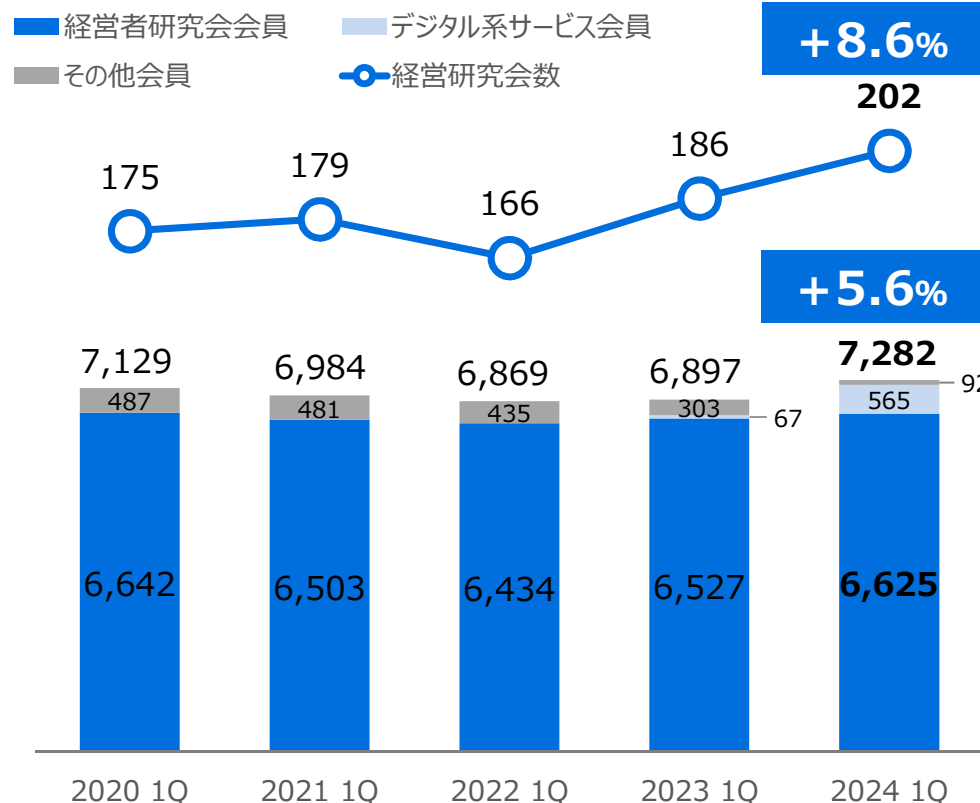
東京本社の移転時期もあり経営セミナー参加者数は微増にとどまるものの経営研究会会員数はコロナ前を上回るまで増加

経営セミナー 開催件数および参加者数の推移



(数値は船井総合研究所主催の有料経営セミナー実績値)

経営研究会 会員数および研究会数の推移



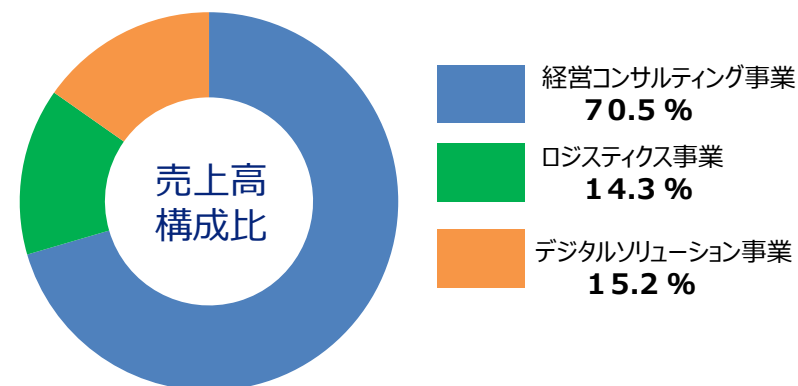
2024年12月期 第1四半期決算報告

2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

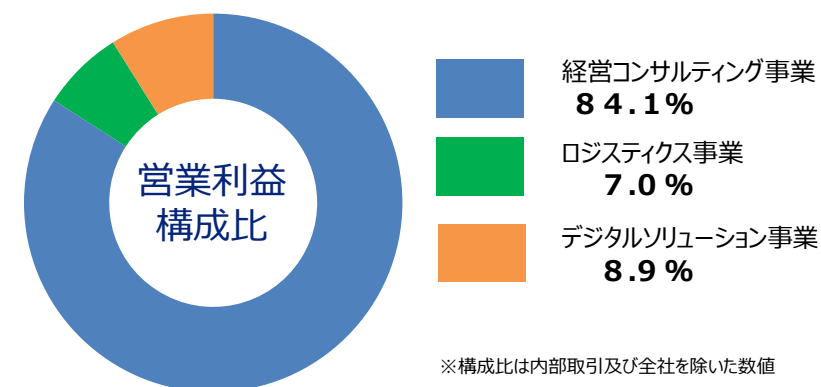
(1) セグメント別経営成績

経営コンサルティング事業は、月次支援や経営研究会が堅調に増収。営業利益はコンサルタント数の増加もあり微減
ロジスティクス事業およびデジタルソリューション事業については、利益率が向上し、増収増益

売上高	23年1Q		24年1Q	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)
経営コンサルティング事業	4,750	4,912		+3.4
ロジスティクス事業	994	995		+0.0
デジタルソリューション事業	1,020	1,062		+4.1
(内部取引および全社)	4	0		-
合計	6,770	6,970		+3.0

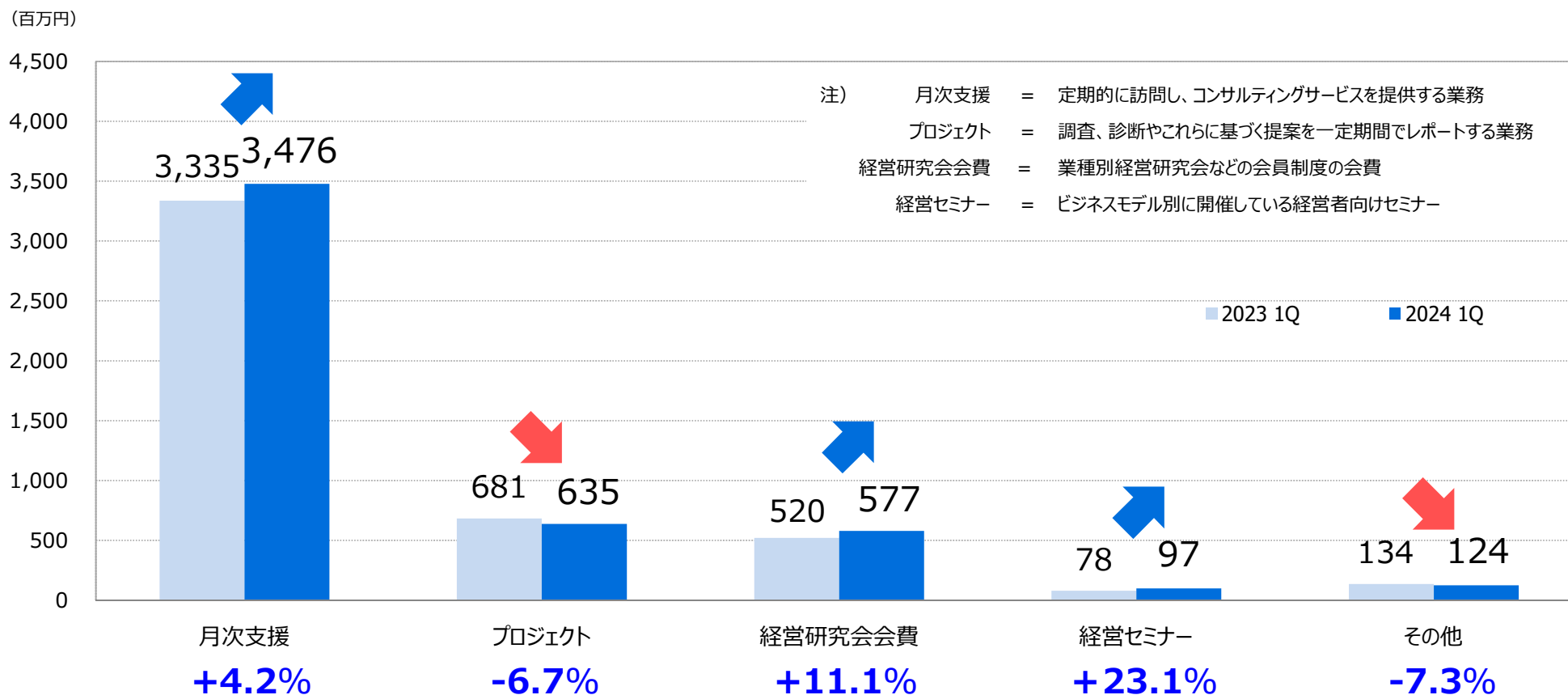


営業利益	23年1Q		24年1Q	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)
経営コンサルティング事業	1,724	1,705		-1.1
ロジスティクス事業	114	142		+24.8
デジタルソリューション事業	-77	180		-
(内部取引および全社)	4	47		-
合計	1,765	2,076		+17.6



2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 = 主な業務区分別売上 =

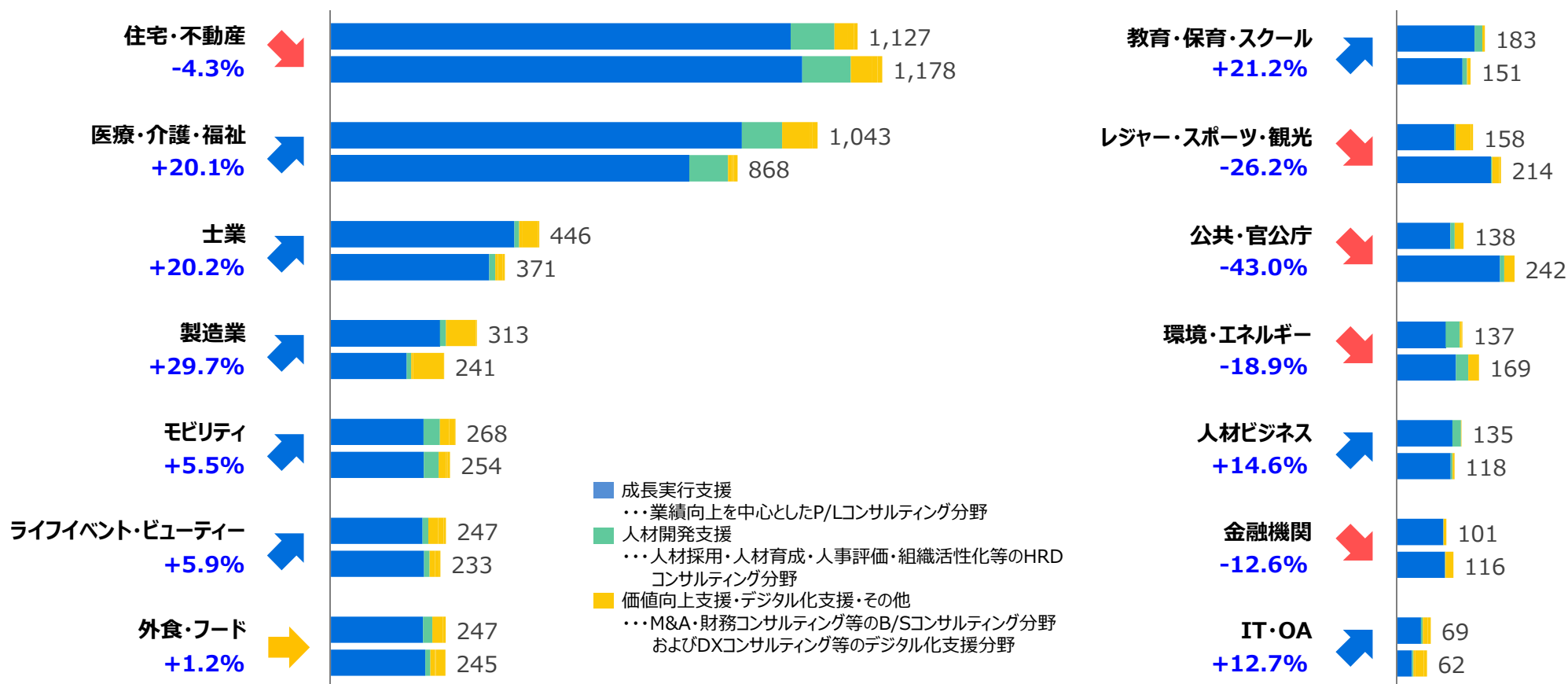


2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 = 主な業種区分別売上 =

※各グラフ上段：2024年1Q
下段：2023年1Q

(単位：百万円)

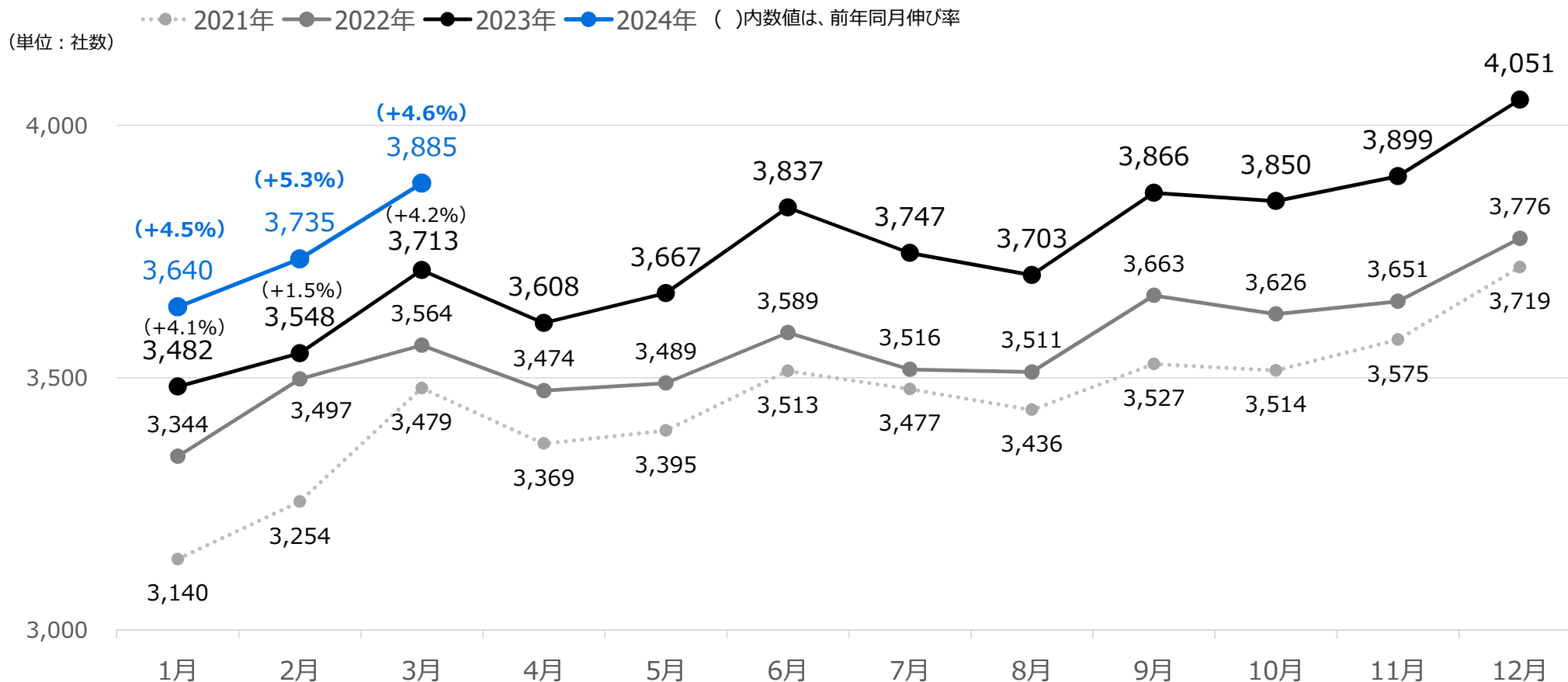


※今期より「外食」「フード」の区分を「外食・フード」に統合

2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 =コンサルティング社数=

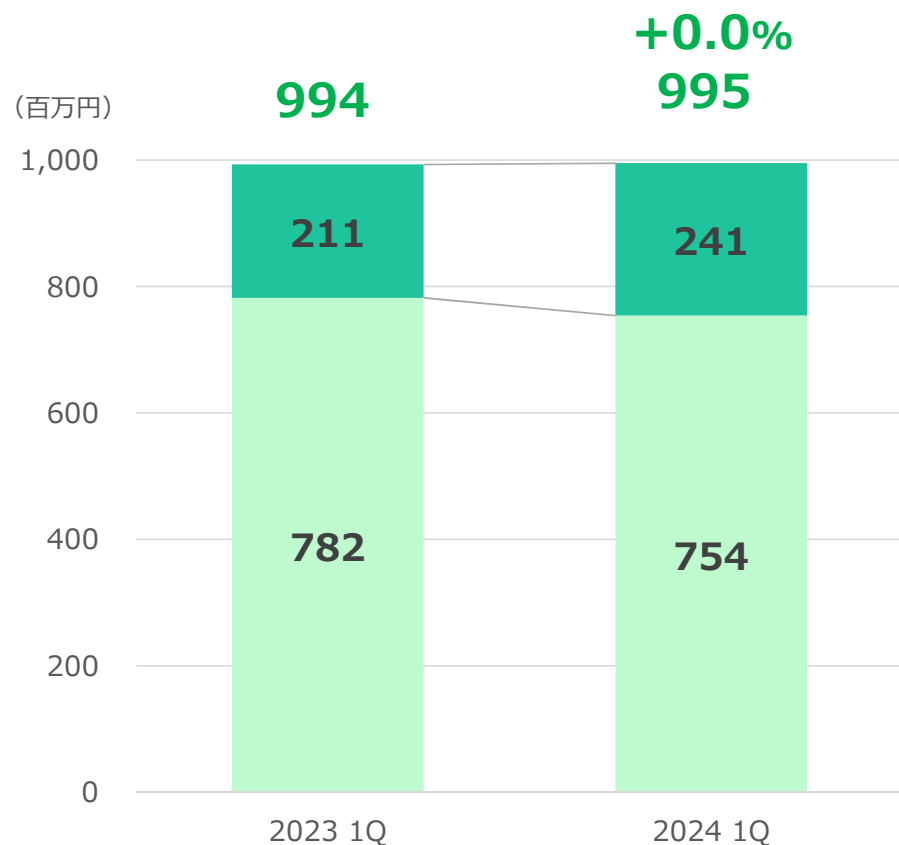
月別コンサルティング実績（社数）の推移



※数値は、経営コンサルティング事業（船井総合研究所・プロシード・船井（上海）・船井総研ITソリューションズ・成長戦略）における月別コンサルティング社数実績（延べ社数・グループ内取引除く）

2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

(3) ロジスティクス事業における業績動向 =業務区分別売上=



物流コンサルティング (クライアントの物流コスト削減等)

▲ +13.9%

- ・物流企業向けコンサルティングは好調に推移し、経営研究会会員数も増加
※2024年3月末時点：340会員（前年同期301会員）
- ・研究会入会から経営支援を行う導線を拡充するため、荷主向けの経営研究会を立ち上げ

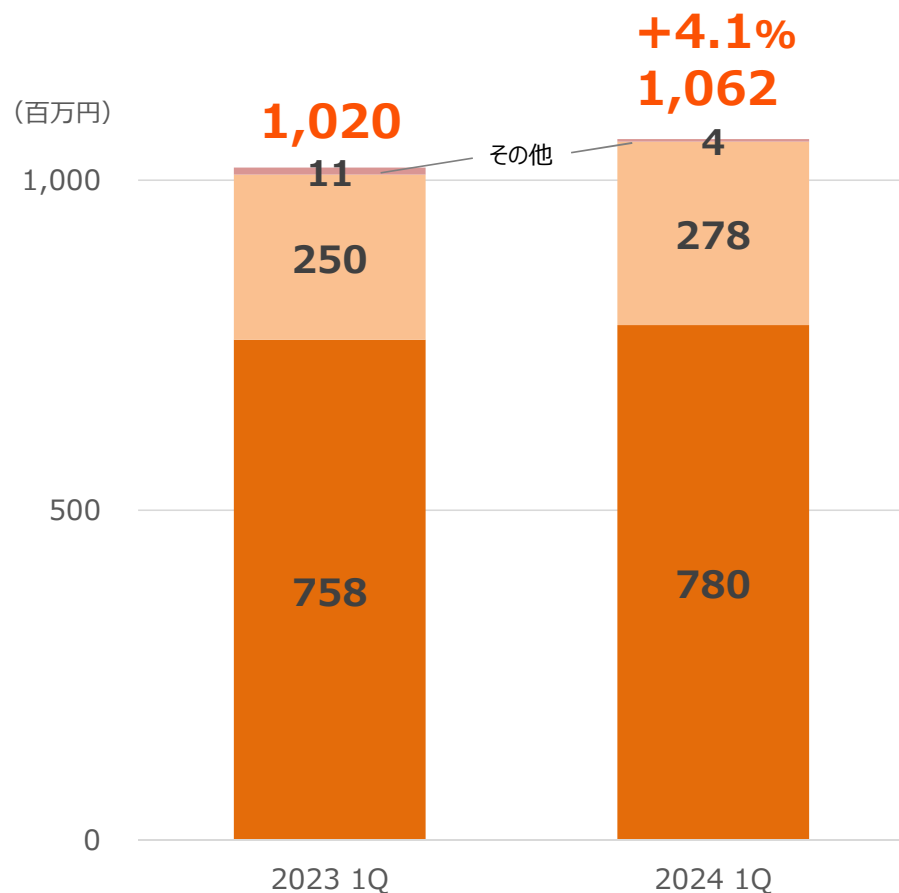
物流BPO (クライアントの物流業務の管理・運用、 共同購買などによる購買コスト削減等)

▼ -3.7%

- ・新規大口受注が厳しい環境下のなか、新規顧客開拓も着実に進行するが、既存顧客との取引減少もあり減収

2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

(4) デジタルソリューション事業における業績動向 = 業務区分別売上 =



HRソリューション

▲ +11.3%

- ・企業からの依頼は堅調に増加傾向
- ・増収増益を達成し、営業利益率も10%以上を維持

デジタルソリューション

▲ +2.8%

- ・前期はエンジニア採用などの積極投資を行い、赤字先行したが、
今期は収益性を重視し黒字化

<SPX (Sales Process Transformation) >

- WEB広告運用代行業務が引続き堅調
- コールセンター関連のBPOも好調で売上は大きく増加

<ITコンサルティング>

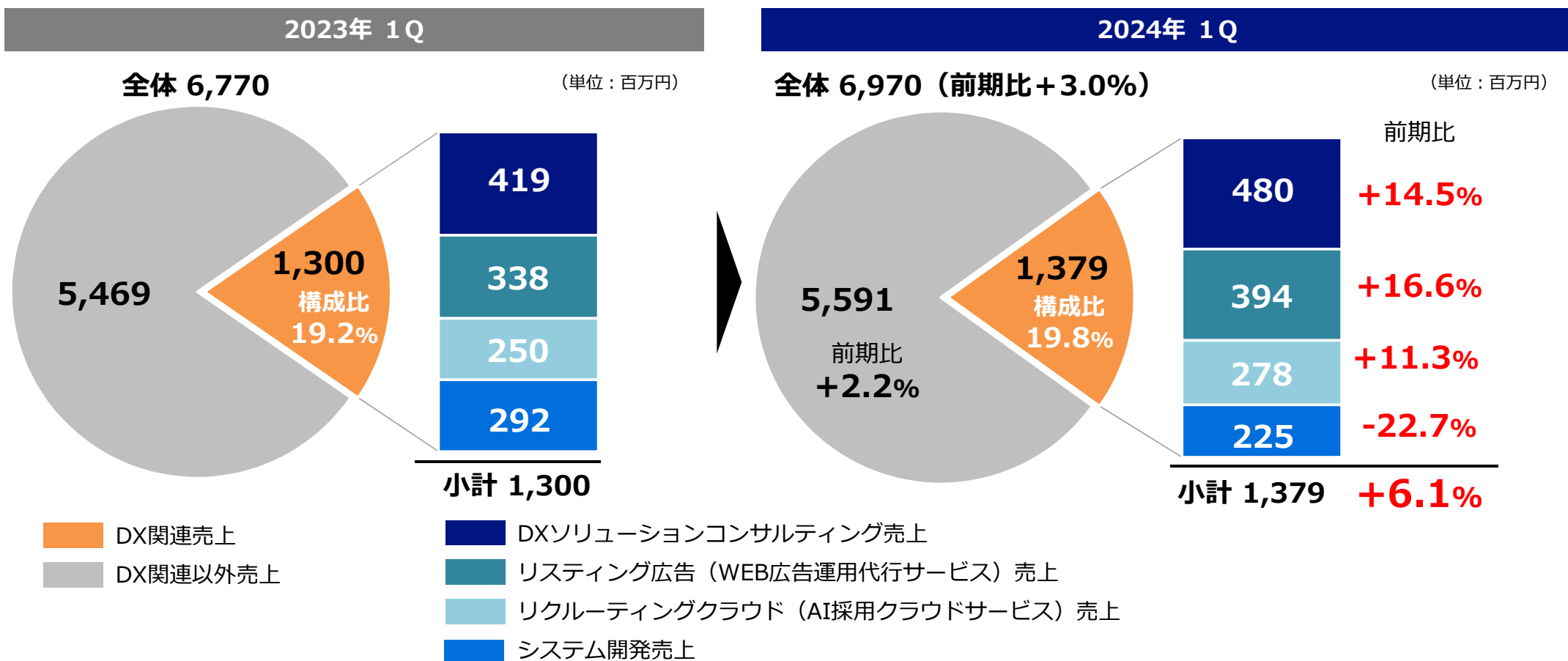
- 前期の大型PJ案件が一巡し売上は微減

<クラウドソリューション>

- 前期の大型受託案件の減少に伴い売上は減少
- 売上減少分以上の外注費の削減等により利益は増加

2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

(5) DX関連サービスにおける業績動向



2. 2024年12月期 第1四半期決算報告

(6) 連結財務状況（要約貸借対照表）

（単位：百万円）

	2023年 12月末	2024年 3月末	増減額	増減の主な特徴
流動資産	18,657	17,361	▲1,296	流動資産の減少は、主に現金及び預金の減少、その他に含まれる未収入金の増加によるもの
固定資産	有形固定資産	6,146	+456	固定資産の増加は、主に建設仮勘定の増加、無形固定資産のその他に含まれる借地権の減少によるもの
	無形固定資産	1,124	▲333	
	投資その他の資産	5,702	5,849	
資産合計	31,631	30,604	▲1,026	
流動負債	5,666	6,600	+934	流動負債の増加は、主に未払金及び賞与引当金の増加によるもの
固定負債	238	215	▲22	固定負債の減少は、主に退職給付に係る負債及びその他に含まれる預り保証金の減少によるもの
負債合計	5,904	6,816	+911	
純資産合計	25,726	23,788	▲1,938	財務状況は、引続き高い自己資本比率（75.6%）を維持しており、健全な状態
負債純資産合計	31,631	30,604	▲1,026	

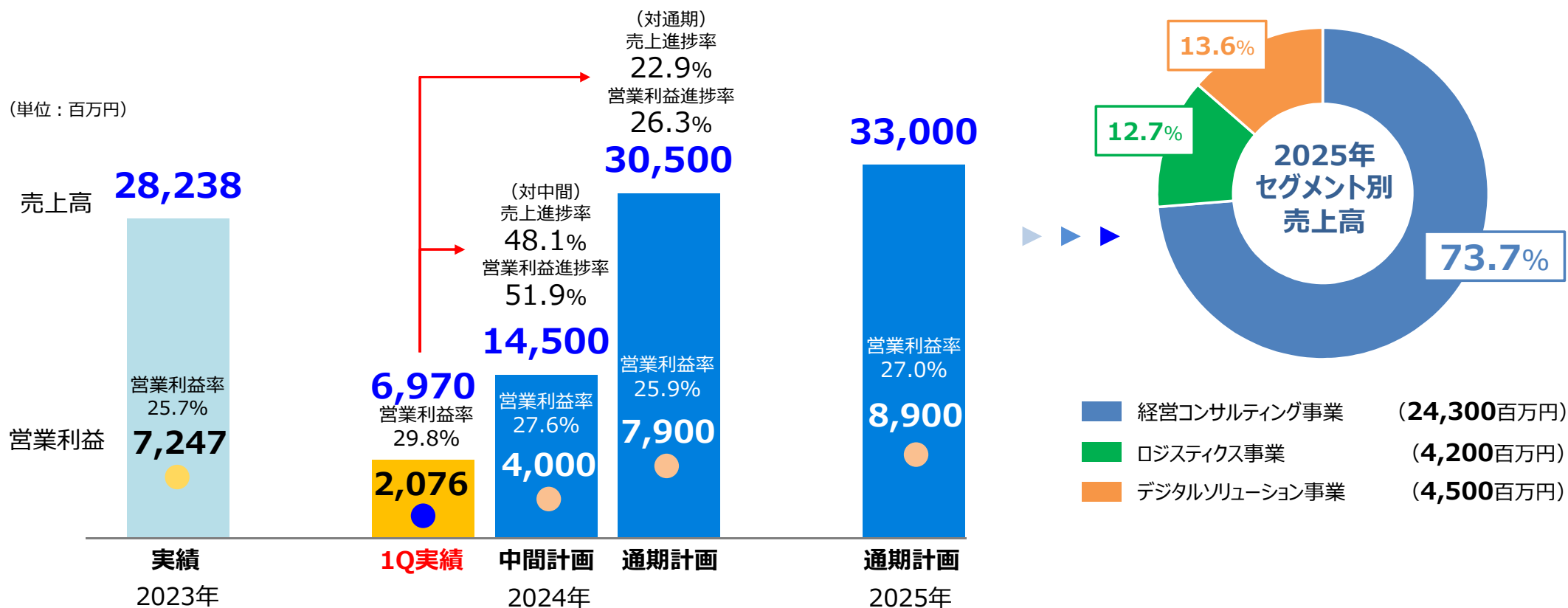
業績予想と株主還元

3. 業績予想と株主還元

(1) 中期経営計画の進捗状況

高い収益性は維持しつつ、2025年はグループ売上高330億円、営業利益89億円を計画

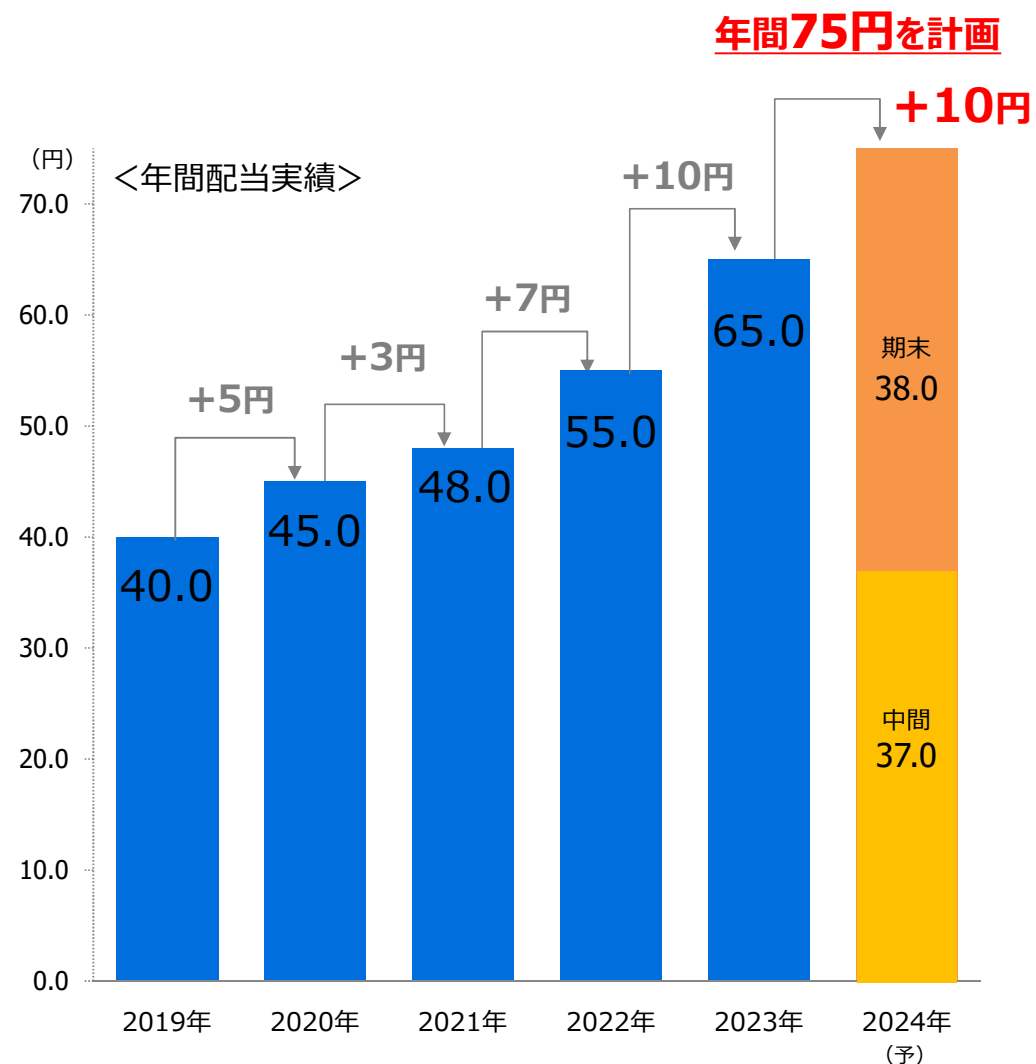
■ 2023年～2025年度 売上高及び営業利益の実績と計画



3. 業績予想と株主還元

(2) 配当について

基準日	当初予想		実績	
	配当金額 (1株あたり)	内訳	配当金額 (1株あたり)	内訳
2019年12月期	40.0	中間 17.0 期末 23.0	40.0	中間 17.0 期末 23.0 ※うち記念配当3.0
2020年12月期	45.0	中間 20.0 期末 25.0	45.0	中間 20.0 期末 25.0
2021年12月期	46.0	中間 21.0 期末 25.0	48.0	中間 21.0 期末 27.0
2022年12月期	53.0	中間 25.0 期末 28.0	55.0	中間 25.0 期末 30.0 ※うち記念配当2.0
2023年12月期	65.0	中間 32.0 期末 33.0	65.0	中間 32.0 期末 33.0
2024年12月期 (予定)	75.0	中間 37.0 期末 38.0		



3. 業績予想と株主還元

(3) 自己株式の取得について（3月末までの進捗）

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行により、資本効率の向上および株主還元の充実のため、下記のとおり自己株式の取得を実施

・自己株式の取得について

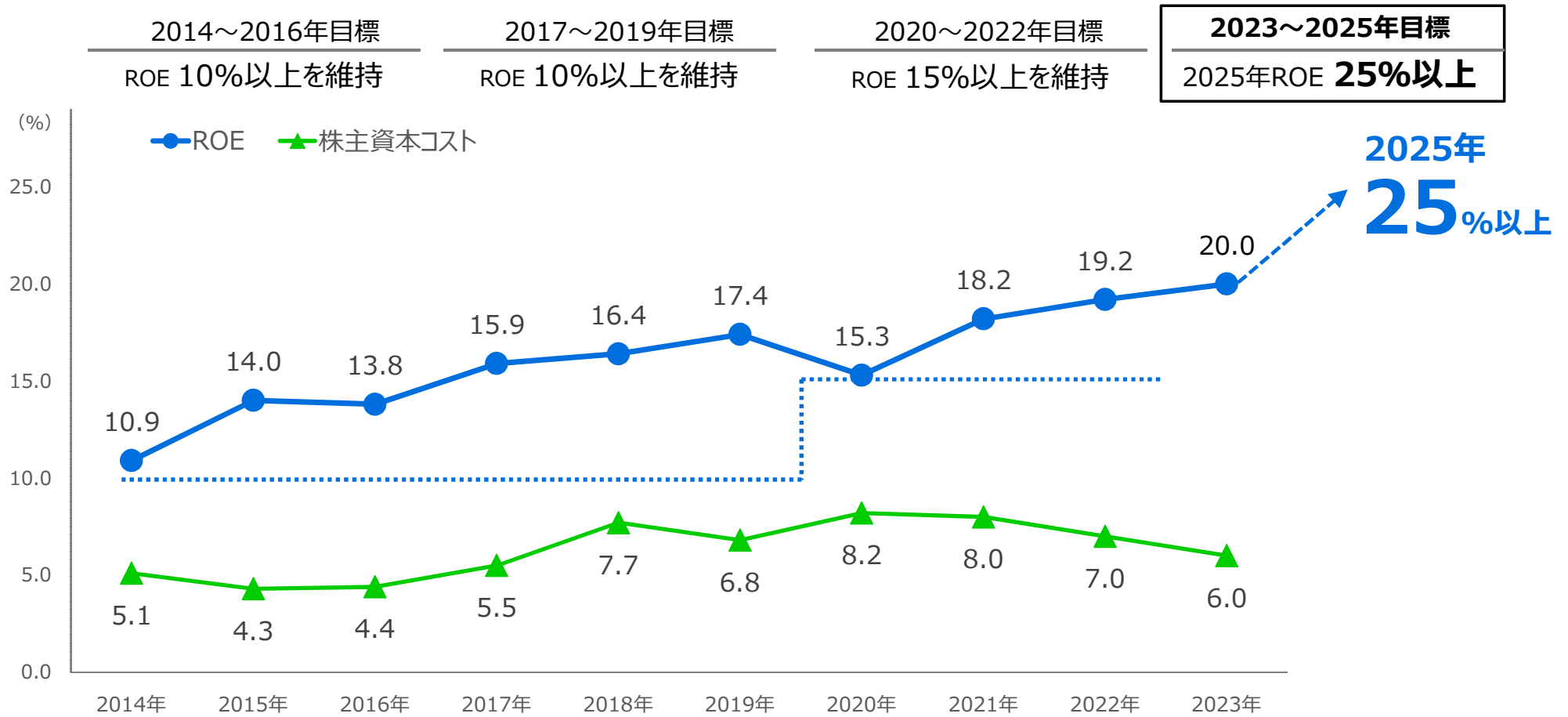
決議日	取得期間	取得金額					取得株数
		上限	2023年	2024年	取得済金額	進捗率	
2023年8月23日	2023年8月24日～ 2024年5月31日	3,000百万円	2,209百万円	790百万円	2,999百万円	99.9%（終了）	1,172,800株
2024年2月8日	2024年2月9日～ 2024年12月31日	3,000百万円	—	1,141百万円	1,141百万円	38.0%（途中）	447,200株

・自己株式の消却について

決議日	消却日	消却株数		
		消却前 発行済株式総数	消却数	消却後 発行済株式総数
2024年2月8日	2024年2月29日	52,000,000株	2,000,000株	50,000,000株

3. 業績予想と株主還元

(4) ROE目標



4. トピックス

■ 船井総研グループ東京本社「サステナグローススクエア TOKYO」順調なスタート

グループ全社の東京拠点を「東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー」35階に移転集約し、4月1日より営業開始
新たな客層の創出、過去のクライアントの掘り起こしにも寄与しており、前年対比約2倍の経営者が来社

(4月11日に開催した新オフィスオープン記念 経営者セミナーの様子)



新東京本社 2024年4月度 来客数

3,892名 (+91.3%)

▲
旧東京本社
2023年4月度 来客数

2,035名

(参考) 旧東京本社 2024年
1~3月度 平均来客数

1,921名

グループパーパス

サステナブルな成長を促す企業をもっと。 Sustainable Growth for More Companies

どんな時代にも成長し続ける企業を増やし、あらゆる人が幸せにその可能性を開花させ、
社会の生産性をも上げられる。そんな未来を私たちがリードしよう。

本資料に掲載されております計画や見通し、戦略等は、現時点において入手可能な情報や合理的判断を根拠とする一定の前提条件に基づいた当社の判断による予測です。

従いまして実際の業績等は、今後の様々な要因により、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害などに関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は投資誘導を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社船井総研ホールディングス コーポレートストラテジー部 IR・広報チーム
TEL: 06-6232-2010
Mail: ir@funaisoken.co.jp URL: <https://hd.funaisoken.co.jp>